全教 枚方教育

全教・枚方教職員組合
枚方市西禁野 1-1-3
No.１９３４
2024. 2. 08.
TEL 848-3300
Fax 848-3052
組合ホームページ

第 22 回枚方の教育を語り合う父母・市民と教職員の集い
「先生が足りない、私たちに今できること」
保護者、市民、PTA、NPO、多彩な参加者で、深い論議

2月3日(土)に旧メセナひらかたの多目的ホールで、第２２回の「枚方の教育を語り合う、父母市民と教職員の集い」が開催され、40 名の参加者で、活発で熱心な論議で、「教員不足問題」から、今の教育、学校の在り方について率直な意見交換が行われました。

パネラーから、子ども、学校の実態を交流　学校教育、支援教育、不登校・・・

集いの前半では、学校関係者や保護者、不登校の親の会の方から、学校での日常の先生と子どもたちとの実践や、子どもたちの姿をリアルに伝えてもらいました。教育条件や業務の多さなどから思うようにはできない中でも、現場で工夫しながら、本来の子ども同士の交流や先生たちとの心を通わせていく姿を報告してもらいました。

教員不足問題では、この問題が国、府、市それぞれの事情やそれぞれの政策が積み重なり、現場に増幅してしわ寄せが起きていることや、その中でもそれぞれで主体的、自発的に取り組めば教職員にモチベーションをもって教育活動に当たれるようにできるはずといった内容を報告。

保護者からは、支援教育を巡る昨年の保護者たちの大きな動きと、それを受けての今年の市教委の審議会での論議の取り組みに触れながら、配慮や支援を必要とする子どもたちが、学校でのびのびできるように、もっと考えていかないとと率直な意見を出してもらいました。

不登校支援の親の会からは、文科省の政策、予算から、根本的に必要な教員の大幅な増加が行われていないこと、特例校の設置以外に本来の学校や教育のあり方の見直しが必要であると指摘がありました。

参加者からも多彩発言で論議　保護者・PTA・子どもの居場所づくり・・・

後半では、参加者によるフロア発言中心に意見が交わされました。

枚方をはじめとして子どもの居場所づくりに事業に携わる参加者から、子どもたちが興味や関心を持ち、それぞれが持つ力を延ばしていける取り組みを企画して転換している工夫、取り組みを紹介してもらえました。

PTA役員などを務める保護者からは、PTA活動や保護者から見える学校の姿や、学校への疑問・質問なども出され、先生がこれだけ足りていない実態を知り、改めて教育への関心をもってかかわることが大切だと述べておられました。

「教員不足問題ひらかたアクション」
保護者、退職教員、現役教員などが
2/3（土）2 回目のスタンディングアピール

枚方の教員不足問題についてつながりあい、交流しようとLINEのオープンチャットで、保護者や市民、退職教員、現役教員でつながる「教員不足問題ひらかたアクション」で、市民向けに学校の実態や教員不足の実態を保護者や市民に知ってもらい、共に声をあげてもらおうと、2 月 3 日(土)に枚方Tsite前で、スタンディングアピールを行いました。

当日は 30 人の保護者や市民、退職教委運や現役教員も参加し、子ども連れの参加もり、手作りのプラカードや横断幕、子どもに人気の恐竜スーツの参加者もあり、賑やかで多彩なスタンディングアピールが行われていました。

「ひらかたアクション」では、昨年 11 月 17 日(金)にも枚方市駅前でスタンディングアピールを実施しており、今回で 2 回目となっています。

「教員不足問題ひらかたアクション」の LINE オープンチャットは LINE で検索して、だれでも参加して交流が可能となっています。

「学校がもたない！緊急アンケート」にご協力を

中教審は「教員確保の特別部会」を設置し、8 回の議論を重ねていますが、いまだ抜本的な対策を示すことなく、答申は来年度初めにずれこむことも予想されます。

この間、全教では給特法の見直し、抜本的な働き方改革などを求めた「長時間労働に歯止めをかけ、ゆたかな学校教育の実現を求める署名(歯止め署名)」を呼びかけ、現在 15 万筆を超えました。

昨年 12 月に結成された「学校に希望を！長時間労働に歯止めを！ネットワーク」(略称：働き方ネット)は、全日本教職員組合、新日本婦人の会、全日本退職教職員連絡協議会、教組共闘連絡会が参加していますが、この署名提出後のとりくみとして、標記の緊急アンケートが呼びかけられています。

このアンケートは、2 月いっぱいで集約、3 月上旬に記者発表をおこない、中教審・政府・政党に届ける予定となっています。
緊急のとりくみではありますが、各単組・支部において、下記の具体的なとりくみについての積極的なとりくみをお願いします。

枚方教組に加入して、力を合わせて、声をあげよう
声をあげれば変えられる！黙っていては、苦しくなるばかり

組合の取り組みで変化につながった

■全世代での、給与・ボーナス引き上げ、20 代中心に、約 20 万円前後の「差額支給」を実現
■市費教職員の待遇改善、給与の合子引き上げ、府採用試験 1 次学科試験免除の適用
■授業時数の弾力的対応、教員不足問題で、申し入れ、対応策、市教委への提案などを展開

この間の取り組みで、実現したり変化につながった組合の取り組みです。
枚方教組は、十分とは言えない組織の大きさですが、変化を生み出す子ができています。さらに、枚方教組にたくさんの教職員が加わり、もっと大きな取り組みを展開できれば、もっと大きな変化につながります。
みんなが加わり、力を合わせて声をあげれば必ず大きな変化が生まれる。外国でのこの間の労働運動の歴史的な拡大が物語っています。

どちらを選びますか！？

理不尽な教育政策を堪え忍び、困難を受け入れて働き続けるか
組合に加わり、力を合わせて、目の前の現実を変えていくのか

黙っていても、苦しくなるばかり、力を合わせて声をあげれば変えられる。
若い先生たちが、これからも、人間らしい生活を充実させながら、仕事でも教師になった意味を実感できる働き方、職場の在り方を実現していくために、一緒に枚方教組に加わり、力を合わせましょう。

対市交渉で、職場の声を市教委に

まなび庵、多彩な教研活動

教員不足問題、保護者、市民と緊急集会

サマーパーティーなど多彩な交流行事

You the people have the power.
（あなたたちには力がある）
Let us all unite!
（力を合わせよう！）

組合加入申し込み QR コード

NHK「“学校”のみらい～不登校 30 万人から考える」
子どもも先生も、過密で、限界を超える負担と課題
変えよう、子どもも先生も苦しい学校を

NHK スペシャルで不登校の実態と、世界や日本で模索されている新しい取り組みが取り上げられています。
日本の不登校は約 30 万人に上っています。子どもたちの声からは、限界を超える負担や課題と、人間らしい空間からかけ離れた、学級定数、教員数など日本の教育条件の実態も明らかになっています。
外国の対応策では、フランスの学校外での支援の取り組みを紹介。子ども 15 人に 5 人の専門家が支援に寄り添う取り組みを紹介。
韓国でも、公立で無償のフリースクールで、自由なカリキュラム、子ども本位の教育内容の学校の取り組みを紹介。
日本も教育予算、教員増を先進国平均に引き上げるとともに、限界を超える子どもへも、教員へも限界を超える負担や課題の抜本的見直しが緊急の課題です。

「“学校”のみらい～不登校 30 万人から考える」より

学校はみんな競っていた、それがつらかった、
足の速さとか、勉強のテストとか、
給食を食べる速さとか　全部競ってた
先生も怖いし、全然自由に遊べないし
この時間は勉強して
全部時間とか決まってたり
好きな本ないのに
読まなきゃダメみたいな
そういうのが嫌だった

「不登校のきっかけ 1 位は「先生との関係」一因に教員の過重業務か」NPO 調査

「多様な学びプロジェクト」(川崎市高津区)では、保護者不登校の当事者や経験者のアンケート結果を公表し、文科省調査とは対照的に、生きづらくなったきっかけが「先生との関係」「授業が合わない」などが上位を占め、かつてのように「いじめ」「友達との関係」から大きく変化していることを指摘しています。
これに関連して開催されたシンポジウムでは、現場の教員から過密な業務の実態を指摘し、余裕のない働き方が背景にあることを訴えていました。また、このシンポジウムに参加した文科省関係者も「先生の創意工夫のある授業ができる環境づくり、働き方改革が重要」と発言があったとされています。

東京・墨田区　始業式の 2 日後に入学式を
海老名市　小中の教材費無償化　品川区　小中の学用品無償化

東京都墨田区は、新年度の小中学校の入学式を始業式の 2 日後にすることを決定、教員が新入生を迎え入れる体制を整える十分な時間を確保し、負担を軽減する。在校生が新しい学級担任やクラスメイトと関われる余裕を作る狙いもあるとされます。
枚方では、辞令交付式のあときわめて短期間で新年度の学年編成、担任決定があわただしく行われ、子どもたちとの関係づくりに大きな負担となっています。早急に柔軟な対応が必要です。
また、神奈川県の海老名市では新年度から召集の教材費が、東京・品川区では焼酎の学用品の無償化が行われることになります。
お金の心配なく、子どもたちの新学期がスタートして、友達作り、学習に前向きな気持ちで取り組めるためにも極めて重要な取り組みです。
本当に必要なところにこそお金を使ってほしい、枚方、大阪の保護者、教職員みんなの願い鵜です。

全教（全日本教職員組合）の枚方教職員組合のニュースです　枚方教組に加入して学校や働き方を変えていきましょう